

令和4年度清流の国ぎふ野菜ファーストプロジェクト会議 議事要旨

- 1 日 時 令和4年7月8日（金）14：00～15：30
- 2 場 所 岐阜県シンクタンク庁舎 1-1会議室
- 3 出席者 清流の国ぎふ野菜ファーストプロジェクト会議
11名（別添出席者名簿のとおり）
保健所、農政部農産物流通課、健康福祉部保健医療課
- 4 議事内容
 - （1）清流の国ぎふ野菜ファーストプロジェクト概要及び取組内容について
 - （2）清流の国ぎふ野菜ファーストプロジェクト 今後の方針について
 - （3）野菜摂取量の増加のための取組について（意見交換）
- 5 主な協議事項
第3次ヘルスプランぎふ21（岐阜県健康増進計画）の重点目標である「県民の野菜摂取量の増加」の達成に向けて、関係機関や団体、企業の取組状況について意見聴取

○野菜摂取量を増やすために各団体等が実施している取組状況

今後他分野の団体・機関等と協働していきたい取組

- ・地産地消という部分で、県で作った野菜をしっかりと消費してもらうことを進めていきたい。地産地消ロゴのシールやバッジ、ポスター等を作成しPRしている。
- ・地元農畜産物の消費拡大を目的に、野菜直売所に足を運んでもらえるよう30～40代の主婦層をターゲットに、情報誌を作成。
- ・地産地消レシピのコンテストを昨年度及び今年度実施。

- ・一昨年は「野菜を使ったレシピ」を組合員に募集し、40種類のレシピが集まった。昨年度はバージョンアップし、子供の朝食欠食がいることから、主食も食べて欲しいという思いもあり「お米と野菜を使ったレシピ」を組合員に募集。冊子にして、レシピを応募された方や店舗、希望者に配布した。

- ・今年度の新たな取組として、以前作成した野菜ファーストレシピ集等を活用し、1品で70gの野菜がとれる「野菜たっぷりメニュー」の動画作成を予定している。9品作成予定で動画配信する予定。

- ・コロナ禍でなければ、色々な場で盛んに取組ができているところだが、コロナ禍のためレシピ集やリーフレットの配布を行っている。
- ・「みんなで食べよう やさい料理」冊子は、子ども食堂用に作成した。コロナ禍でなければ出向いて食育指導をするが、出向くことができなくなったため、それに充てていた予算を使用して、レシピ集を作成した。

- ・メディアを使った発信として、地元ケーブルテレビで消費者に対して商品紹介を行っている。令和3年度は、12品目を各月に分け紹介していただく形で、販売促進、消費促進に取り組んだ。
- ・調味料メーカー等とコラボしながら、少しでも野菜の消費推進に繋がるような活動を

これから一緒にやりたいと思う。

- ・ 8月に、地産地消フェアを岐阜県羽島店で実施予定。大きな集客がある所でイベントを実施し、野菜の認知をあげるような取組を1年に1～2回進めている状況。
- ・ 試食販売等をして、その野菜が美味しいということを知ってもらい、味を知ってもらいということが大事である。
- ・ 減塩商品・野菜を買ってもらいにより、ポイントを付与することでお客様にもメリットを持ってもらい、しかも野菜をしっかり食べて頂くというような取組を新たにスタートしてみる。この取組が少しでも認知が広がっていけば良いと考えている。
- ・ コンビニでは、冷凍野菜や野菜を使った惣菜といった商品の品ぞろえを強化している。加工されたものは、比較的若い世代に向けた商品となるが、野菜そのものについても、コンビニを利用するお客様の年代が上がってきているということもあり、野菜に対する需要もかなり高くなっている。
- ・ 先ほど若い世代を中心に、野菜の必要量がわからないというアンケート結果があったが、そういったお客様に向けて、1日の3分の1の野菜がとれるサラダや、品目数をアピールした商品で、若い世代の方にも野菜のとりやすさ、野菜の摂取量がわかりやすいという部分をアピールしている。
- ・ 「野菜をたっぷりとりようプロジェクト」として知らないうちに野菜がとれるようなメニューをすすめてきた。
- ・ 今年うどんの専門店をオープン。野菜たっぷりうどんとして、1食分全部を上のにのせたうどんは人気がある。塩分を控えた麺も作っている。
- ・ 以前から野菜中心の弁当に取り組んでいるが、やはり揚げ物が人気になっている。そのあたりも含めて野菜を中心に、人気な商品に取り組もうと考えている。
- ・ 特定健診や若年層に対する健診を実施しており、健診結果を踏まえながら野菜摂取の指導をしている。
- ・ よく言われるのは、サラダをとっているから野菜はとれていると思っているとか、そもそも料理をしたくないという方もいるので、個々のレベルに合わせた指導ができるのが特徴になっている。
- ・ 県から色々な分析や、情報発信をして頂いているが、興味のない方に、どのようにしたらいいかということを考えていかなければいけないと思う。
- ・ 学校では、毎日の献立に野菜をたっぷり取り入れた献立を提供することはもとより、放送による指導、献立表に野菜ファーストプロジェクトのことを紹介するなど、家庭や地域の方に呼びかけを行っている。
- ・ 他機関との協働では、子供達に、生産者の様子をお知らせしたり、動画等を使ってお知らせすると子供達も野菜に興味を持って、食べてくれるようになると思う。

○若い世代を重点とした朝食での野菜摂取量増加に向けた取組

- ・ 朝食ということであれば簡便性が重要。野菜の必然性というのは多くの方が理解しているところだが、もう一押しする工夫がポイントだと思う。例えば、買い物に行くのが面

倒、調理時間を時短にしたいというような、面倒なところをクリアできることも提案できると、野菜を二の次にしてしまう人達を、もう一押しできる気がする。

- ・野菜の量だけではなく、自分は何を食べたら良いか分からないという人達にとっては自分に必要な栄養素の量がわかると、野菜を選ぶ時に、何を買っていいか分からなかったり、ワンパターンになる方達にも、重要なものが見えてくるような気がする。
- ・朝は時間がないということを考えた時に、いかに簡単に食べてもらうかで、野菜をメインに考えすぎると、なかなか子供が食べないだとか、時間の問題もあると思うので、肉や魚をあえてメインにして、その中にいかに野菜入れていくかという、発想を変えながら作っていく方が、結果として野菜摂取量が増える、食べてもらえると思う。
- ・今、店の方では、1袋100~150円程度で買えるカット野菜が非常に増えている。簡単に調理できるカット野菜を利用しながら、消費を増やすことも必要と思う。
- ・野菜をとらないといけないと思っているが、野菜をとらないとどうなるかを若いお母さんはわかっていないと思う。野菜が高騰し、ますます野菜離れするのではないかと思う。
- ・一人で生活されているお年寄りの方も、若い世代の方達も、1人で何かを作るのはもったいないと思うし、カット野菜は割高になってしまう。野菜を食べなくてもお腹が膨れれば良いという考え方でいるので、若いお母さんや企業の中でもデメリットをしっかりと教えて頂けると世の中が少し変わるのではないかと思う。

○野菜摂取無関心層に意識してもらうための取組

- ・なぜ野菜不足になるかを考えると、一番は学校での教育なのかと思う。知識がない・興味がない人にどうアプローチしていくか、学校でどう伝えていくかといった話があったが、やはり子供と親と一緒に考える機会が少ないことが問題と思う。
野菜を食べなさいという話も大事だが、そもそも食べ物はどうできて、どう作られているのかという所が、まだ結びついていない。
- ・例えば家庭で野菜栽培するなど、野菜栽培の機会を学校を通じて提供すれば、少し興味が出てくる場として、解決に繋がるんじゃないかと思う。
- ・昨年度は、野菜ファーストの事業として水耕栽培の野菜の種を配布した。子供達は、やはり自分で作ったものは丁寧に食べる。育てることは楽しかったようで、大変喜ばれた。
- ・レシピ集に関しては、募集する際に岐阜県民に足りない野菜摂取量が70~80gとされているので、1人分野菜が70gとれるようなレシピを募集した。
- ・SDGsは、この地域のことだけではなく、世界的に進めていかなければならない開発目標が出ている。作る責任、使う責任、こここのところをもう少し啓発をしていかなければいけないと思う。特に地域で育った野菜をその地域の人が食べるということにも大きな意味があると思う。
- ・旬菜の味というのを、味覚として訴える活動ができるともっと野菜摂取が増えるのかなというふうに考える。

令和4年度清流の国ぎふ野菜ファーストプロジェクト会議 出席者名簿

| 団体名 | 役職 | 委員氏名 |
|-------------------|-----------|--------|
| 岐阜女子大学 | 教授 | 藤田 昌子 |
| 岐阜県農業協同組合中央会 | 協同活動推進課課長 | 下條 克隆 |
| 生活協同組合コープぎふ | 組合員理事 | 井上 ゆうが |
| 岐阜県食生活改善推進員協議会 | 会長 | 澤田 綾子 |
| 公益社団法人 岐阜県栄養士会 | 理事 | 酒井田 環 |
| 岐阜中央青果株式会社 | 上席執行役員 | 若曾根 隆宏 |
| 株式会社バロー | SM 農産部課長 | 井上 直人 |
| 株式会社ファミリーマート | 営業業務グループ | 山田 国輝 |
| 株式会社デリカサイト | 執行役員情報本部長 | 佐竹 輝美 |
| 市町村保健活動推進協議会栄養士部会 | 部会長 | 加藤 久美子 |
| 岐阜県学校栄養士会 | 会長 | 川瀬 朋美 |

【陪席】

| | | |
|------------|----------|---------|
| 農政部 農産物流通課 | 技師 | 吉川 周作 |
| 岐阜保健所 | 技師 | 加納 里華 |
| 西濃保健所 | 技師 | 種田 倭都 |
| 関保健所 | 技師 | 高橋 聖恵 |
| 関保健所 | 技師 | 高見 真生子 |
| 東濃保健所 | 係長 | 安江 亜希 |
| 恵那保健所 | 係長 | 伊佐地 るり子 |
| 恵那保健所 | 非常勤管理栄養士 | 勝 千紗 |
| 飛騨保健所 | 主任技師 | 山口 舞弥 |

【事務局】

| | | |
|---------------|------|-------|
| 岐阜県健康福祉部保健医療課 | 課長 | 井上 玲子 |
| | 係長 | 山本 敦弘 |
| | 技術主査 | 濱塚 久美 |
| | 主任技師 | 中島 美冴 |